

報道機関各社 様

## 開幕まであと50日！札幌国際芸術祭2024 追加アーティスト！

SIAF2024では参加アーティストが未来を探る作品・プロジェクトを展開します

札幌国際芸術祭2024（略称：SIAF2024）は、2024年1月20日（土）～2月25日（日）に開催します。6年半振りとなる今回は、初の冬開催。札幌市内6会場を「200年の旅」（未来劇場[東1丁目劇場施設]、北海道立近代美術館、札幌文化芸術交流センター SCARTS）と「未来の冬の実験区」（札幌芸術の森美術館、モエレ沼公園、さっぽろ雪まつり大通2丁目会場）という2つのストーリーに分けて設計し、国内外からの多彩な作品やプロジェクトを紹介します。

このたび、長谷川 愛（日本）、施井泰平（日本）、スーパーフラックス（イギリス）、脇田 玲（日本）の4組のアーティストの参加が追加決定しました。いずれも、アート、デザイン、テクノロジー、サイエンスなど、多様な領域を横断するアーティストです。また、北海道立近代美術館での企画には、北海道立北方民族博物館コレクションから19組のアーティストによる「イヌイットの壁掛け」作品展示が決定。さらに北海道立近代美術館コレクションから8組のアーティストの作品展示も追加決定しました。

SIAF2024では、12月1日現在、81組の参加アーティストを発表しています。アーティストそれぞれの視点・手法でこの先の風景を見つめ、未来を考えるような作品やプロジェクトを展開する予定です。

### SIAF2024 追加アーティスト（2023年12月1日発表）

#### ●未来劇場（東1丁目劇場施設）



長谷川 愛（活動地：東京）

バイオアートやスペキュラティブ・デザイン（問いを創造するデザイン）等の手法によって、生物学的課題や科学技術の進歩をモチーフに、現代社会に潜む諸問題を掘り出す作品を発表。SIAF2024では、100年後の未来を探るような体験型作品を展示予定。



施井泰平（1977年、東京出身 活動地：東京）

2001年以降「インターネットの時代のアート」をテーマに美術制作を開始し現在に至る。ブロックチェーンなどのテクノロジーでアートの課題解決に取り組むスタートバース株式会社の代表取締役を務める。SIAF2024では、NFTを活用し、来場者の周遊を促すようなプロジェクトを計画。



スーパーフラックス（2009年設立 活動地：ロンドン）

アナブ・ジェイン、ジョン・アルダンにより創設されたロンドンを拠点とするアート&デザインスタジオ。実験的で、未来を志向する作品を生み出している。SIAF2024では、人間や人間以外の「種」が共存する、気候変動を経た未来の世界を垣間見るような作品を展示。

## SIAF2024 追加アーティスト（2023年12月1日発表）

### ●モエレ沼公園

Photo by TSUSHIMA Takahiro



脇田 玲（1974年、東京出身 活動地：東京）

目の前にありながらも知覚できない力を可視化/可聴化/物質化することで、世界の見方を更新する作品を制作。SIAF2024では、8K映像と音場合成技術を駆使し、果てしなく続く大地の変遷や、そのダイナミクスを体感できるような空間を作り上げる。（技術協力：NHK放送技術研究所）

### ●北海道立近代美術館

#### ・北海道立北方民族博物館コレクション

アニー・アクルクユク・クラブク、エヴァ・ヤーカ、H・マノンク、  
アイリーン・アヴァーラーキアク・ティクターラーク、マーサ・アブサク、  
マーサ・ヒクニク、マーサ・コグヴィク、マーサ・ティッキク、マーサ・ティクタク・アナウタリク、  
メアリー・K・オクヘーナ、メイ・ケナリク、M・キルラーク、  
ナンシー・プギングルナク・アウパウルクトゥク、オリーヴ・ママク・インナカトシク、  
パウリナ・ウルルクシク・コリト、カルリクサク、R・ヴォスアク+B・ロデ、  
ヴェラ・アヴァーラ、ヴィクトリア・カユルユク  
他に作者不詳作品あり

#### ・北海道立近代美術館コレクション

阿部典英、一原有徳、国吉康雄、スタンレイ・ウィリアム・ヘイター、ジュアン・ミロ、  
難波田龍起、中村木美、李 禹煥

#### 札幌国際芸術祭2024（SIAF2024）について

札幌国際芸術祭（Sapporo International Art Festival 略称：SIAF）は3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える、特別なアートイベントです。2014年に第1回、2017年に第2回を開催。3回目となる2020年の開催は中止となったため、今回6年半振りの開催となります。

札幌国際芸術祭2024（SIAF2024）では、小川秀明ディレクター（アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表/アーティスト）のもと、「LAST SNOW」をテーマに、札幌市内6会場を中心に、10カ国以上、約80組のアーティストの作品を展示するほか、北国の冬ならではの屋外イベントや、市民参加型プロジェクト、企業や団体とのコラボレーションを展開。多彩なアートやイベントを通して、「未来」に向けた人々の創造性を育み高めていくきっかけを生み出していきます。

▶公式ウェブサイト <https://2024.siaf.jp>

お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会 担当：小林・佐藤

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階

電話：011-211-2314（平日 8:45~17:15） Fax：011-218-5154 E-mail：press@siaf.jp